福島第一原子力発電所現地確認報告書

１　確認日

令和８年９月１６日（水）

２　確認箇所

共用プール建屋（図１）

３　確認項目

２号機燃料取り出し作業の状況

４　確認結果の概要

東京電力は、２号機使用済燃料プールに貯蔵されている６１５体の燃料について、令和１０年度中の取り出し完了を目指し、令和８年６月２日に燃料取り出し作業を開始した。

２号機使用済燃料プールから取り出した使用済燃料は、輸送容器（以下「キャスク」という。）に７体ずつ収納され、２号機原子炉建屋から共用プール建屋へ輸送される（図２：使用済燃料の輸送工程）。現在、キャスク１０基目の輸送作業が進められている。

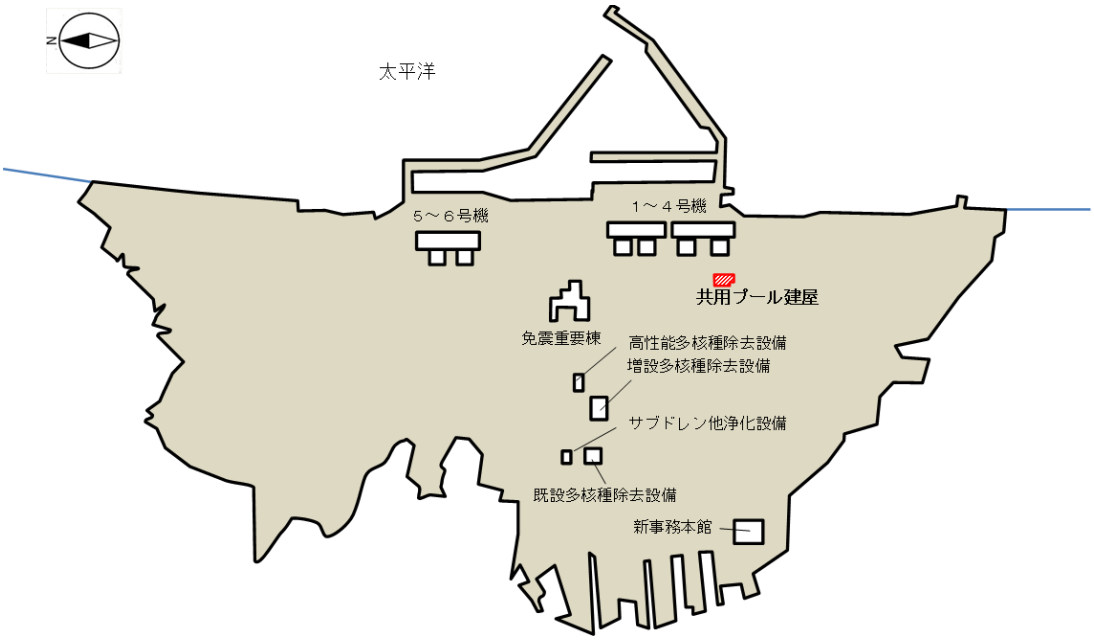
キャスクをプール外へ移動する作業を確認した昨日に引き続き、本日は、キャスクの共用プール建屋外への搬出に向けた作業を確認した（図２の10）。前回確認：令和８年９月１５日）

・共用プール建屋において、使用済燃料を取り出した後のキャスク（以下「空キャスク」という。）を、使用済燃料輸送容器除染設備※1（以下「キャスク除染ピット」という。）から天井クレーンを用いて使用済燃料輸送容器保管エリア※2へ吊り下ろし、保管する作業を確認した。（写真１）

・一連の作業においては、玉掛け作業者による合図や作業員の安全帯着用などの安全対策が適切に実施されるとともに、作業員間で指差呼称などによる相互確認を行いながら連携し、安全かつ確実に作業が進められていた。

※１　使用済燃料輸送容器除染設備：キャスクの除染を行うため、共用プールに隣接して設けられている設備。

※２　使用済燃料輸送容器保管エリア：キャスクを一時保管するため、設けられているエリア。



（図１）福島第一原子力発電所構内概略図

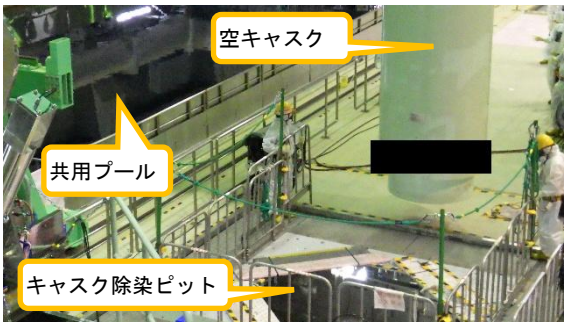


※「プール」は使用済燃料プールを指す。

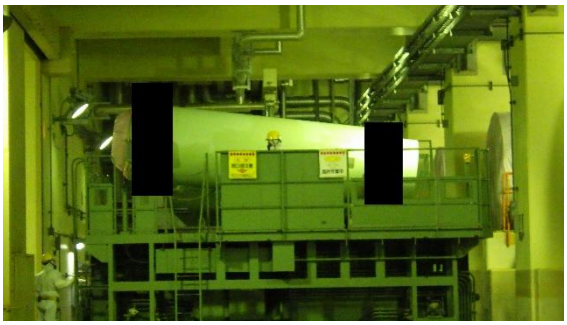
（図２）使用済燃料の輸送工程



（写真１－１）キャスク除染ピットからの空キャスクの吊り上げ作業



（写真１－２）空キャスクの移動作業



（写真１－３）使用済燃料輸送容器保管エリアに運ばれた空キャスク

5　プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。